



「<sup>うち</sup>家のみんなで<sup>ほん</sup>本を<sup>よ</sup>読む」=家読

たとえば…

- みんなで同じ本を読んで、感想を話してみる
- それぞれが最近読んだ本の紹介をする
- 絵本の読み聞かせや本の朗読をする

やり方はいろいろです

この本おもしろい！という気持ちを家族でシェアしませんか  
本をきっかけに おしゃべりしましょう♪

## ～ きょうだいの本 ～

子どもの頃の兄弟は、お互いに、とても大きな存在です。今回は、そんな“きょうだい”が主役の本を紹介します。同じ作品でも、“兄・姉”“弟・妹”“一人っ子”、それぞれの立場で感じ方が違って来るかもしれません。身近なテーマなので、ぜひ、ご家族で読書を楽しんでみてください。



『バスのたび』  
工藤 ノリコ//作  
ブロンズ新社

ペンギンの姉弟、おねえちゃん、ペンちゃん、ギンちゃん。姉弟だけでバスに乗りましたが、弟たちは降車ボタンが気になり、つい、ボタンを「ピンポーン」。おねえちゃんの“頑張り”に、ほっこりする絵本です。



『にちょうびのぼうけん!』  
はた こうしろう//作  
ほるぷ出版

ある日曜の朝、“ミスター-X”を名乗る人物から手紙が届いた「ぼく」。そこには、“誰にも見つからずに公園へ行き、ベンチの下を見るように”という謎の指令。「ぼく」は、お兄ちゃんと出かけますが、指令は次から次へと続いて…兄弟の冒険が、わくわく楽しい作品です。

『ぼくのかわいくないもうと』 浜田 桂子//作 ポプラ社

小学2年生のこうたは、おしゃべりで、でしゃばりの妹・まほに、うんざり。学校では、クラスまで遊びに来るし、家では部屋まで一緒。ある時、こうたからおたふくかぜがうつり、まほが寝込んでしまいました。静かになり、喜んでいたこうたでしたが…やっぱり兄弟っていいなと思える1冊です。

『すみれちゃん』 石井 睦美//作 黒井 健//絵 偕成社

ママに赤ちゃんが生まれ、お姉さんになったすみれちゃん。ちっちゃな妹はとってもかわいいけれど、お姉さんはつまらなかったり、大変だったり。おしゃまで、歌が大好きなすみれちゃんの成長を描いた物語です。

『青い鳥』 メーテルリンク//作 江國 香織//訳 高野 文子//絵 講談社

チルチルとミチルは、貧しい木こりの兄妹。二人は妖精のベリリユンヌに頼まれ、彼女の娘のために、“青い鳥”を探す旅に出ます。お供は、光の精、犬や猫たち。訪れるのは、「記憶の国」「夜の城」といった不思議な場所ばかり。兄妹は果たして、幸せの“青い鳥”を見つけることが出来るでしょうか？